

令和7年度事業実施状況報告

I. 定款4条、第1項、第1号に定められた科学技術に関する学術研究振興を目的とする事業（いわゆる 公益事業）として、下記の事業を行った

1. 研究助成事業（科学技術試験研究助成、村田基金研究助成）
 2. 研究成果の公表、科学技術情報の提供事業（財団ニュース）
 3. 研究寄附金事業
 4. 共同研究事業
 5. 大学と地域社会、産業界との技術的交流事業（科学技術交流会）
- その詳細は次の通りである。

1. 研究助成事業

1-1 科学技術試験研究助成

氏 名	所 属	研究助成テーマ	助成金額
宇部 達	静岡大学 工学部	近赤外光に応答して変形する高分子光アクチュエーターの開発	¥500,000
安富 啓太	静岡大学 電子工学研究所	SOI ロックインピクセルの高速電子顕微鏡への応用	¥500,000
荒牧 修平	浜松医科大学 光総合医学研究所	X線励起型ADCの開発とがん特異的放射線増感療法への応用	¥500,000

1-2 村田基金研究助成

氏 名	所 属	研究助成テーマ	助成金額
益田 有	静岡大学 工学部	電子線励起アシスト光学顕微鏡によるダメージレス観察のための電子線制御法開発	¥500,000
増澤 智昭	静岡大学 情報学部	中性子イメージングのための半導体ダイヤモンド放射線検出器開発	¥500,000
佐藤 浩平	静岡大学 工学部	合成化学が拓く生命科学と創薬の最前線	¥500,000

2. 研究成果の公表、および科学技術情報の提供事業

- 財団ニュース第27号 11,000部発行 作成費用 ¥473,000
- 財団ニュース第27号 10,426部発送 発送費用 ¥110,560

3. 研究寄附金助成事業

企業等から教育研究を奨励するため、金銭の寄附を受け付けている。この寄附金を「研究寄附金」と呼び、今年度は、3件の研究寄附金を受け付けた。

寄附者名	研究タイトル	寄附金額
オフィスミヤタ	河川巡視に係るドローン撮影データ利用に関する研究	¥200,000
anbx（株）	絵文字やスタンプなどを用いた非言語コミュニケーション	¥1,500,000

矢崎エナジーシステム(株)	情報科学を用いた一次産業支援に関する研究	¥400,000
---------------	----------------------	----------

4. 共同研究事業

産学官の連携による技術開発、研究開発をした成果を新技術・新製品に結びつけるため、財団が研究開発テーマを提示して、賛同する企業等や研究者を募集する「共同研究事業」には、今年度は下記の共同研究を実行した。

共同研究事業名	共同研究相手	金額
スクロール圧縮機の運転時挙動に関する研究	パナソニック株式会社	¥880,000

5. 大学等と研究機関、地域社会および産業界との知的および技術的交流事業

大学等と研究機関、地域社会及び産業界との知的及び科学技術的交流の促進事業として、科学技術、研究成果等の提供並びに参加者が相互に意見交換、懇談等を行うため「科学技術交流会」を県内各地（東部・中部・西部）で開催した。

5-1 科学技術交流会（浜松地区）

- 令和7年5月17日（土） 浜松工業会 浜松支部と共催 ¥400,000
演題：見えないリスクのコントロールと R-Map 製品安全コンサルタント 松本浩二

5-2 科学技術交流会（静岡地区）

- 令和8年2月6日（金） 浜松工業会 静岡支部と共催 ¥400,000
演題：AIの時代に「人の知性」を考える：認知科学の視点から
静岡大学情報学部講師 白砂大

5-3 科学技術交流会（沼津地区）

- 令和7年7月26日（土） 浜松工業会 沼津支部と共催 ¥200,000
演題：環境変化に適応的に振る舞うマルチエージェントシステム
静岡大学工学部助教 早川智洋

II. 定款4条、第1項、第1号に適合しない事業（いわゆる 収益事業）として、下記の事業を行った

1. 委託事業

産学官の連携による 技術開発、研究開発をした成果の中から、企業が研究開発テーマを選定し、共同で研究がはじまる「委託研究」は、今年度受入れがなかった。

2. 団体等の業務受託事業

浜松工業会（静岡大学工学部・情報学部 同窓会）から、会員管理業務、総会・理事会等の会議業務などの事務管理業務を受託した。（業務受託受入額 ¥3,600,000）